

## 6. チベット語の辞書

チベット語→日本語の辞書は、簡単に手に入るものは、

### ケルサン・タウワ 『チベット語辞典』 カワチェン

くらいしかないと思います。これはチベット語→日本語だけでなく日本語→チベット語もついているのですが、単語帳よりちょっとマシという程度のもので、残念ながら経典の翻訳にはそれほど役に立ちません。みなさん方がチベット語の単語の意味をちょっと調べてみようという程度のことなら使えると思います。もっともチベット文字の順番を知らないと引けませんが。Amazonで手に入ります。

チベット語→英語の辞書は、スマートフォンのアプリの

### "Tibetan Dictionary" (Phurba.net)

というのがあって、これがバカにできないんですよ。まずはこの辞書を引くことにしています。チベット語キーボードがついていて、それで入力します。あと

### Tony Duff: "The Illuminator Tibetan-English Encyclopedic Dictionary" (Padma Karpo Translation Committee)

というパソコン上の辞書があって、これはその名の通り百科事典的に詳しく説明がありますので、細かく意味を調べるときにはきわめて便利です。これは、チベット語キーボードもついています。Wylie式というローマ字チベット語変換もできますので、ローマ字入力しています。ちなみに、印刷テキストのためのチベット語は、"KeymanWeb.com" というところのオンライン入力画面を使って作成し、それを一太郎にコピーしています。これもチベット語キーボードがついているのですが、先の携帯アプリの "Tibetan Dictionary" とは配列が違うのでやっかいです。

経典を翻訳するにはどうしても漢訳語を知りたいので、チベット語→華語の辞書が必要になります。

### 『藏漢大辞典』民族出版社

は上下2巻、各巻1600ページの巨大な辞書ですが、きわめて懇切丁寧です。残念ながらパソコン上の辞書ではないので、自宅でしか使えません。旅先でもけっこう翻訳をしますが、そういうときには携帯電話あるいはパソコンの辞書を使って、帰宅してからこの辞書で漢訳を確認します。簡体字で書いてありますので、チベット文字の他に簡体字も読めないと使えません。

私の年になると、単語はほとんど覚えられないです。だから、嫌がらないで何度でも同じ単語を引くことにし

ています。「語学上達のコツは？」ともし聞かれたら、  
「面倒くさがらないこと」と答えます。